

APF Reporterは、Webおよびクライアントからリアルタイムにデータにアクセスできる強力なレポートング・ツールです。APF Reporterのレポート作成セッションでは、直感的に操作できる独自のGUIを使用して、複雑なレポートをすばやく簡単に作成することができます。レポート結果は、リスト、グラフ、ガントチャート、ハイパーリンク、ドリルダウンなど、さまざまな形式で出力できます。

強力な時間ベースの（テンポラル）レポート機能

APF Reporterでは、MESインターセプト技術で作成されたテンポラル（時系列的）なレポジトリを使用しています。このレポジトリは「時系列的」な要素を持っているので、従来のデータベースでは作れないようなレポートを作成できます。従来のデータベースを用いたレポートは、製造現場の状況のスナップショットをベースにしたもので、完全な履歴に基づいたレポートではありません。APF Reporterでは、特別なレポートやビジネス・グラフ（タイムライン、棒グラフ、円グラフ、ガントチャートなど）を簡単に作成することができます。APF Reporterを使用すれば、MIS（経営情報システム）部門に頼ることなく、製造現場のスタッフ自身が基本的なレポートを瞬時に作成できます。さらに、データの時系列的な特性を生かし、時間軸に沿ってレポートを「再生」できるという機能も用意されています。このアニメーション機能により、ユーザは、どの時点のレポートでも表示することができ、その時点からレポートを「再生」して、時間の経過に伴う変化を確認することができます。

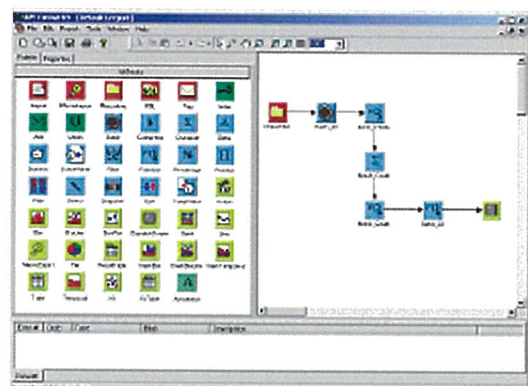
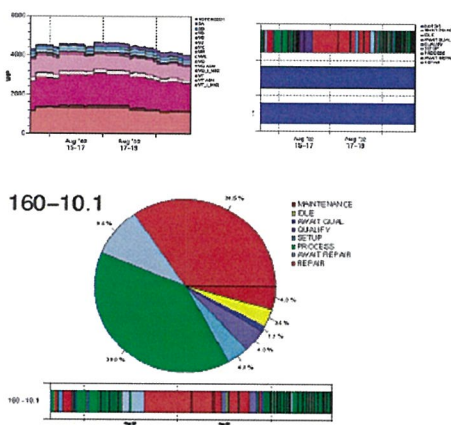
APF Formatter

APF Reporterは、APF Formatterによって作成されたレポートを実行し、表示します。APF Formatterは、レポートを作成する際に使用するGUI方式のクライアント・ツールです。レポートの実行中に、ユーザがレポート期間をカスタマイズできるので、1つのレポートから数多くのデータ表示を行うことができます。レポートの実行後は、必要に応じてデータの表示方法を調整することが可能です。

特長

- 誰でも複雑なレポートを作成できます。IT部門が作成してくれるのを待つ必要はありません。
- どの時点からでも、データの状況を確認できます。非常に直感的な問題の診断と対処が可能になります。
- オンライン・レポートの実行により、ユーザ自身が情報のパワーを活用できます。
- 多数のデータ・ソースを簡単に結合可能。あらゆるデータ・ソースから、1つのレポートを作成できます。異なるデータ・モデルのデータを簡単に結合できるパワフルなツールです。

左：APF Reporterで利用できるレポートの種類（一部）
右：独自のレポート作成用GUI



Webレポートिंग

APF Formatterで作成されたレポートは、Webサイトやネットワーク・アドレス経由でアクセスしたり、実行したりできます。アクセス権限があれば、ローカル・マシンにAPF Formatterが導入されていなくても、レポートの実行や表示が可能です。これにより、レポートの実行および表示機能を、会社全体でフレキシブルに活用できます。

Activity Manager for Reportingを使用したAPFレポートの自動作成

APF Reporterには、Activity Manager for Reportingという自動レポート作成ツールが含まれています。このツールは、APFレポートの自動実行および出力機能を提供します。具体的には、実行するレポート、レポートを実行する場所、使用する表示形式(PDF、HTML、XMLなど)、レポートの出力方法(Eメール、ディスクに保存、印刷など)を指定するレポート・ジョブを作成することができます。Activity Manager for Reportingは、APFレポートの実行をフレキシブルに制御できる強力なツールです。

入力データ

APF Reporterは、ほとんどの一般的なMES (Manufacturing Execution System: 製造実行システム) とリアルタイムに統合できます。Oracle Databaseとの直接接続(OCI)や、ODBCおよびJDBC接続の使用にも対応することができます。

APF Reporterスイートは、次の2つのモジュールで構成されています。

- > APF Reporter - レポート機能を提供します。
- > Activity Manager for Reporting - 高度なレポート・スケジューリング機能を提供します。

APF Reporterモジュールには、次の主要コンポーネントが含まれています。

- > APF Formatter - レポートの定義に使用します。
- > Query Executor - レポートをWeb経由で実行する機能を提供します。
- > APF Repository - テンポラル・データへのアクセスを可能にするデータ・ストレージ・エンジンです。

機能

- > 直感的に操作可能なGUIでレポートを作成できます。
- > レポートの出力結果をドリルダウン(ズームイン)して、より詳細に表示できます。
- > グラフにテキストや図による注釈を追加して、報告やプレゼンテーション時に注意を引きたいポイントを強調することができます。
- > 他のアプリケーションにインポートするために、テーブルをテキストとして保存することが可能です。
- > レポートをPostScriptプリンタに出力できます。印刷用のビューアはWYSIWYG (What You See Is What You Get) 形式です。
- > ある期間にわたってイベントごとにグラフを更新することで、テンポラル・レポートをアニメーション表示できます。
- > イベントをより詳細に分析するために、ガントチャートの一部を選択できます。
- > Brooks Automation社のスケジューリング・ツールAutoSched AP™への出力が可能です。



アプライド マテリアルズ ジャパン 株式会社

名古屋サービスセンター

〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須4-1-70 TKHビル7階

Tell: 052-238-2801 Fax: 052-238-2802

本社

〒108-8444 東京都港区海岸3-20-20 ヨコソーレインボータワー8F

Tell: 03-6812-6800

<http://www.brookssoftware.jp/index.html>